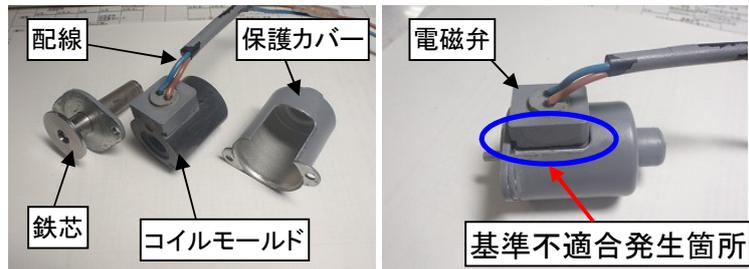
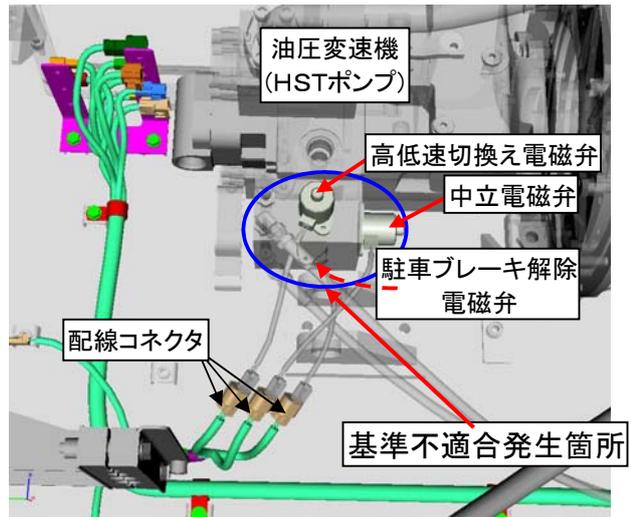


改善箇所説明図

(改善前)



ロード・ローラーに搭載している電磁弁の構成部品であるコイルモールド及び配線の固定方法が不適切なため、コイルモールドが走行中の機械振動によって磨耗する場合があります。そのままの状態で使用を続けると、コイルモールドの磨耗が進行して内部の配線が露出して短絡するため電源ヒューズが切れて電磁弁が作動しなくなる。

リコール対象車両に電磁弁は3個搭載されており、作動しなくなる電磁弁により以下の①～③の不具合が発生する。

- ① 高低速切換え電磁弁が作動しなくなると、高低速切換えができなくなる。
- ② 中立電磁弁が作動しなくなると、変速機を自動で中立状態にすることができなくなる。
- ③ 駐車ブレーキ解除電磁弁が作動しなくなると、走行中・停止中を問わず駐車ブレーキが作動したままとなる。

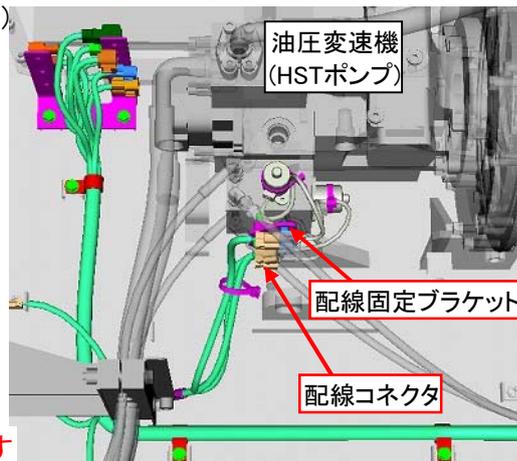
いずれの電磁弁が短絡しても、電源ヒューズは共通であるため①～③が同時に発生し、③の駐車ブレーキ解除不能によって走行不能となる。

改善措置の内容

全車両、電磁弁の保護カバーに配線を固定し、油圧変速機に配線固定ブラケットを増設して配線コネクタを固定する。また、電磁弁のコイルモールドと保護カバー間にシリコンシーラントを塗布する。

識別：電磁弁への配線固定と配線固定ブラケットに配線コネクタを取付けたことにより識別とする。

(改善後)



□は対策部品を示す